

コイワイ、宮城に新棟

過給器向け铸造品量産

【仙台】コイワイ(神奈川県小田原市、小岩井豊己社長、0465・44・2015)は、自動車などのターボチャージャー(過給器)向け铸造品の受注増を受け、宮城工場(宮城県大河原町)内に新生産棟を建設する。投資額は7億円。2018年の稼働を目指す。現在約7億円の量産鑄物の売り上げを18年度に10億円に引き上げる。

近隣の工場用地90(浜市金沢区)から技術00平方メートルを約900(提供を受けて切削加工0万円)で大河原町から(まで)一貫生産する。取得し、既存の工場施設(同工場従業員の平均設と合わせて1万50(年齢は27歳と若い)00平方メートル)の敷地を確保し、新生産棟設立に向けて外部から品質、生産、工場、営業の各管理職を募る。宮城県内会社の青木製作所(横(に)立地する大手企業



早期退職者や、インターン就職希望者を中心に10人程度を採用する予定。同社は14年にターボチャージャーなどのエンジン部品の量産鑄造に本格参入した。16年には倉庫の一部に月50000台規模の生産ラインを導入。さらに国内ターボチャージャーメーカーから50受注増を受け拡張する宮城工場

00台の受注も決まっております。需要の高まりに応えた格好だ。同社は船舶や自動車用エンジンの铸造品などを手掛け、15年11月期の売上高は約20億円。